

■ 評価項目・評価の視点について（過年度調査からの変更点）※第4回委員会を受けて修正・確定

- 評価の単位：大項目（評価の項目）に加えて、**中項目「評価の視点」で評価を行う。**
- 評価の項目・視点の内容：新たに「**2. 地域におけるネットワーク機能**」（利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり、地域とコミセンとのつながりづくり）と「**3. 持続可能な協議会の運営**」（運営委員・協力員の人材充実、持続的な事業実施、活発な協議会運営）を評価項目（カッコ内は評価の視点）として設定する。
- 評価の方法：過年度調査のようにポイントを羅列するだけでなく、**評価の視点ごとに「a.現状」「b.工夫している点」「c.特筆すべき成果」を記載**する。※ループリック評価は実施しない

過年度の評価委員会

大項目（評価の項目）

1. 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

- 利用者への配慮と適切な対応
- 施設の利用方法の工夫
- 新しい利用者・利用団体の増加
- 情報の提供
- 地域住民や地域団体との連携・交流
- 内部の連携
- 利用者（市民）からの意見・要望の反映
- 活発かつ自由な発言

2. 適正な運営

- 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
- 個人情報の保護
- 事業計画に沿った運営
- 経費削減と予算の適正な執行

3. 施設・設備の管理

- 異常時の市への連絡・報告
- 訓練の実施
- 防火管理者の設置
- 備品台帳の確認

■ **主な変更点**

- 注力すべき視点として、「地域におけるネットワーク機能」「持続可能な協議会の運営」を追加
- 中項目（評価の視点）単位で評価

今年度の評価委員会（案）

※赤字は新規追加分

大項目（評価の項目）

1. 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

- 利用者への配慮と適切な対応
- 施設の利用方法の工夫
- 新しい利用者・利用団体の増加
- 情報の提供

「利用者（市民）からの意見・要望の反映」はここに統合

2. 地域におけるネットワーク機能

- 利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり
- 地域とコミセンとのつながりづくり

過年度の1.の「地域住民や地域団体との連携・交流」はこちらに含む

3. 持続可能な協議会の運営

- 運営委員・協力員の**人材充実**
- 持続的な事業実施**
- 活発な協議会運営

4. 適正な運営

- 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
- 個人情報の保護
- 事業計画に沿った運営
- 経費削減と予算の適正な執行

過年度の1.の「活発かつ自由な発言」「内部の連携」に相当

5. 施設・設備の管理

- 異常時の市への連絡・報告
- 訓練の実施
- 防火管理者の設置
- 備品台帳の確認